

若草の芽も伸び、柔らかな日差しが快い季節となりました。この良き日に私たち第54回生が、米子医療センター附属看護学校での生活を始められることを大変嬉しく思います。現在、新型コロナウイルスの影響で多くの学校が入学式の中止や授業の延期を決断せざるを得ない中、入学許可証授与をしていただき、誠にありがとうございます。

私は医療ドラマなどを見て、医療職に憧れを抱きました。祖父が入院した際に、看護師さんが祖父や私たちにもいつも寄り添い、優しく声をかけてくださり私たちの不安を軽くしてくださいました。この経験を通して初めて、看護師の存在の大きさを知り、私も将来は患者さんやその家族に寄り添い、支えとなれるようなあたたかい看護師になりたいと思うようになりました。

入学後は、看護の専門的な知識や技術だけでなく、多くの人との関わりを通して、豊かな人間性を育んでいきたいと思います。また、主体的に学び、常に相手の立場に立って考え、行動できる力を身につけていきたいと思います。

医療の世界は、日々進化し続けています。そうした変化に対応するべく、私たちは一生学び続けなければなりません。そのことを胸に置き、本校での3年間を過ごしたいと思います。

同じ道を選んだ、第54回生の仲間と励まし合い、時には競い合い、互いに切磋琢磨しながら、それぞれの思い描く将来に向けて努力していきます。

令和2年4月10日 新入生代表

